第3号議案

平成31年度県立高等学校及び県立特別支援学校高等部入学定員の策定について

広島県立高等学校学則(昭和28年広島県教育委員会規則第4号)第2条第3項及び広島県立特別支援学校学則(昭和31年広島県教育委員会規則第2号)第2条第2項の規定により、平成31年度の県立高等学校及び県立特別支援学校高等部の入学定員を定めることを提案します。

平成30年9月11日

広島県教育委員会教育長 平川 理恵

1 提案要旨

平成31年度の県立高等学校及び県立特別支援学校高等部の入学定員を別紙のとおり定める。

2 根拠規定

(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号) (教育委員会の職務権限)

- 第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。
 - (1)~(4) (略)
 - (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制,教育課程,学習指導,生徒指導及 び職業指導に関すること。
 - (6)~(19) (略)
- (2) 広島県立高等学校学則

(校名, 設置学科, 修業年限等)

第2条 (略)

- 2 (略)
- 3 高等学校の学校ごとの生徒の定員は、別に広島県教育委員会(以下「教育委員会」 という。)の定めるところによる。
- (3) 広島県立特別支援学校学則

(校名,障害種別,部科名等)

第2条 (略)

2 特別支援学校の高等部の生徒の定員は、別に広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の定めるところによる。

平成31年度広島県公立高等学校入学定員について

1 入学定員策定の設定条件

(1) 中学校3年生在籍者数 25,813人 (30年度 25,976人)

(2) 卒 業 率 100.0% (30年度 100.0%)

(3) 設 定 進 学 率 98.9% (30年度 98.9%)

(4) 通信制・県外等への進学見込者数 2,050人 (30年度 2,000人)

(5) 公 立 受 入 率 68.6% (30年度 68.2%)

2 受入計画の内容

(単位:人)

項目	平成31年度	平成30年度	増減
中学校3年生在籍者数	25, 813	25, 976	▲ 163
中卒見込者数	25, 813	25, 976	▲ 163
進学見込者数	25, 529	25, 690	▲ 161
通信制・県外等への進学見込者数	2, 050	2, 000	50
公私立受入の目安	23, 479	23, 690	▲ 211
公立受入数	16, 122	16, 153	▲ 31
全日制本校	15, 760	15, 880	▲ 120
学級数	394学級	397学級	▲ 3学級
全日制分校	1学級	1学級	0学級
定時制	25学級	26学級	▲ 1学級

3 学級増減の状況(全日制本校)

(単位:学級)

	区分				31年度	
			学級数	増減	学級増	学級減
	県 計	397	394	A 3	1	▲ 4
	安芸高田市,安芸太田町,北広島町	9	9	0		
	広島市,大竹市,廿日市市,府中町, 海田町,熊野町,坂町	186	183	▲ 3		広島井口(普1) 安西(普1) 広島市立舟入(普1)
地	呉市,東広島市,江田島市 	58	59	1	賀茂(普1)	
域	竹原市,三原市,尾道市,大崎上島 町,世羅町	46	45	1		三原東(普1)
	福山市,府中市,神石高原町	80	80	0		
	三次市,庄原市	18	18	0		

4 学級増減の状況(<u>定時制</u>)

(単位:学級)

						<u>(単位:子級)</u>
		30年度			31年度	
	区 分		学級数	増減	学級増	学級減
	県計	26	25	A 1	1	▲ 2
	安芸高田市,安芸太田町,北広島町	0	0	0		
	<u>広島市</u> ,大竹市, <u>廿日市市</u> ,府中町, 海田町,熊野町,坂町	9	9	0		
地	<u>吳市,東広島市</u> ,江田島市	4	3	▲ 1	呉工業(総1)	広(普1) 呉三津田(普1) ※両校募集停止
域	竹原市, <u>三原市,尾道市</u> ,大崎上島 町,世羅町	4	4	0		
	<u>福山市</u> ,府中市,神石高原町	8	8	0		
	三次市,庄原市	1	1	0		

平成31年度広島県公立高等学校入学定員

(大学科ごとの入学定員)

	区	分		31年度定員	30年度定員	差引増減
	普	通	科	9, 760	9, 960	▲ 200
全	農	業	科	600	600	0
	エ	業	科	1, 480	1, 480	0
日	商	業	科	1, 200	1, 200	0
	家	庭	科	240	280	4 0
制	看	護	科	40	40	0
	福	祉	科	40	40	0
本	体	育	科	80	80	0
	国	際	科	40	40	0
校	総	合 学	科	2, 160	2, 160	0
	探	究	科	120	_	120
		計		15, 760	15, 880	▲ 120
全	: 日	制分	校	1学級	1学級	0学級
定		時	制	25学級	26学級	▲ 1学級
通		信	制	700	700	0

⁽注) 全日制本校(普通科)の定員には、併設型中高一貫教育校における併設型中学校からの入学予定者(約280人)を含む。

(帰国生徒等の特別入学定員)

学校名	課程	学科名	31年度定員	30年度定員
全校	全日制	全学科	定員外で 各校2人以内	定員外で 各校2人以内

(秋季入学の入学定員)

学校名	課程	学科名	31年度定員	30年度定員
芦品まなび学園	定時制	普通科	6	6
西	通信制	普通科	_	_
東	通信制	普通科	30	30
広島市立	フレキシブル (平日登校コース)	キャリアデザイン科	6	6
広島みらい創生	フレキシブル (通信教育コース)	キャリアデザイン科	10	10

- (注1) 秋季入学の入学定員は、当該学校の課程・学科における入学定員の内数とする。 ただし、広島市立広島みらい創生高等学校については、それぞれの課程・学科における入学定員 の外数とする。
- (注2) 芦品まなび学園については、「午前」、「午後」、「夜間」の部ごとに2人とする。
- (注3) 秋季入学の入学定員については、募集時における欠員を加える。

県立高等学校の入学定員

(全日制本校)

市区町名		学科名	31年度 定員	30年度 定員	差引增減
-	中 広島国泰寺	普通 普通	200	200	·自/K
島区		理数	80	80	0
市	広島商業	商業	120	120	0
		国際経済	40	40	0
		会計 情報システム	80 80	80 80	0
東	☑ 安芸	総合学科	120	120	0
百		普通	240	240	0
D	₹	衛生看護	40	40	0
		体育	40	40	0
	広島工業	機械	80	80	0
		電気 建築	80 80	80 80	0
		土木	40	40	0
		化学工学	40	40	0
₹	広島井口	普通	280	320	4 0
[2	広島観音	総合学科	240	240	0
3		普通	320	320	0
(z		普通	200	240	▲ 40
		普通 普通 理数	280 40	280 40	0
安	\	普通	240	240	0
北		普通	240	240	0
	高陽東	総合学科	240	240	0
安装	A A III	普通	200	200	0
佐	五日市	普通	280	280	0
	湯米用	普通	40	40	0
具 市	上 広 上 宮 原	普通 普通	200 200	200 200	0
","	具 三 津 田	普通	200	200	0
	音 戸	普通	80	80	0
	呉 昭 和	普通	80	80	0
	呉 工 業	機械	} 80	} 80	} 0
		材料工学	ا 40	ا 40	ر 0
		電気 電子機械	40	40	0
		商業	40	40	0
		情報処理	80	80	0
		会計	40	40	0
竹	竹 原	普通	80	80	0
原		商業	40	40	0
市三		普通 普通	80 200	80 200	0
原	三原東	普通	120	160	▲ 40
市	総合技術	電子機械	40	40	0
		情報技術	40	40	0
		環境設備	40	40	0
		現代ビジネス	40	40	0
		人間福祉 食デザイン	40 40	40 40	0
 尾		普通 普通	160	160	0
道	7.5 2.2 7.	国際教養	40	40	0
市	御調	普通	80	80	0
	瀬戸田	普通	40	40	0
	尾道商業	商業	80	80	0
		ビジネス会計 情報等理	40 80	40 80	0
	 尾 道 北	情報管理 総合学科	200	200	0
	因 島	総合学科	120	120	0
-	-	_			

市区町名	学校名	学科名	31年度 定員	30年度 定員	差引 増減
福	福山葦陽	普通	280	280	0
山	沼南	普通	40	40	0
市	7L H	家政	40	40	0
111		る以 園芸デザイン	40	40	0
	大 門	普通 普通	240	240	0
	+= 1 BB == /:	理数	40	40	0
	福山明王台	普通	280	280	0
	神辺旭	普通	200	200	0
		体育	40	40	0
	福山工業	機械	80	80	0
		電気	40	40	0
		建築	_ 40	_ 40	_ 0
		工業化学	} 40	} 40	} 0
		染織システム	٠, ١	J 70	J
		電子機械	80	80	0
	福山商業	流通経済	120	120	0
		情報ビジネス	80	80	0
	福山誠之館	総合学科	280	280	0
	松永	総合学科	160	160	0
	神辺	総合学科	160	160	0
	戸手	総合学科	200	200	0
府	府中	普通	240	240	0
中	上下	普通	40	40	0
				80	0
市	府中東	普通	80		
		インテリア	40	40	0
		都市システム	40	40	0
=	三次	普通	200	200	0
次	日 彰 館	普通	80	80	0
市	三次青陵	総合学科	80	80	0
庄	庄 原 格 致	普通 普通	80	120	▲ 40
原		医療·教職	40	_	40
市	東城	普通	40	40	0
	西城紫水	普通	40	40	0
	庄 原 実 業	生物生産学	40	40	0
		環境工学	40	40	0
		食品工学	40	40	0
		生活科学	40	40	0
大竹市	大 竹	総合学科	200	200	0
東	賀 茂	普通	280	240	40
広	賀 茂 北	普通	40	40	0
島	黒瀬	普通	80	80	0
市	••••	福祉	40	40	0
	河 内	普通	80	80	0
	豊田	普通	40	40	0
	広島	普通	240	240	0
	西条農業	園芸	40	40	0
	口不成木	函云 畜産	40	40	0
		宙性 生活	40	40	0
		生活 農業機械	40	40 40	0
		緑地土木	40	40	0
		生物工学	40	40	0
	U = ±	食品科学	40	40	0
#	廿 日 市	普通	280	280	0
日	佐 伯	普通	40	40	0
市	廿日市西	普通	200	200	0
市	宮島工業	機械	80	80	0
		電気 情報技術	} 80	} 80	} 0
		建築	- - - 80	} } 80	} } 0
		インテリア 素材システム	ا 40	ا 40	0
		ハロノハノム	_ +∪	±∪	U

市区	学坛	 交名	学科名	31年度	30年度	差引
町名	1 1.	X 11	7171	_ 定員	_ 定員	_ 増減
安	吉	田	普通		80	▲ 80
芸高			生活福祉	_	40	▲ 40
田			探究	120	_	120
市			アグリビジネス	40	40	0
	向	原	普通	80	80	0
江田島市	大	柿	普通	40	40	0
府中町	安芸	府 中	普通	160	160	0
			国際	40	40	0
海田町	海	田	普通	200	200	0
			家政	80	80	0
熊野町	熊	野	普通	160	160	0
安芸太田町	加	計	普通	40	40	0
北広島町	千个	せ 田	普通	80	80	0
大崎上島町	大 崎	海星	普通	40	40	0
世	世	羅	普通	80	80	0
羅			生活福祉	40	40	0
町			農業経営	40	40	0
神石高原町	油	木	普通	40	40	0
			産業ビジネス	40	40	0

(全日制分校)

市区	学校名	学科名	31年度	30年度	差引
町名	子权石	于14-12	学級数	学級数	増減
北広島町	加計 芸北	普通	1	1	0

(定時制)

	区	学校名	学科名	31年度	30年度	差引
町	名	7 12 1	7111	学級数	学級数	増減
広	中区	広島国泰寺	普通 夜間	_	_	0
島	西区	広島観音	普通 午前	_	_	0
市	安佐北区	可 部	普通 夜間	1	1	0
Ä	Ę	広	普通 夜間	_	1	▲ 1
ī	₹	呉 三 津 田	普通 夜間		1	▲ 1
		呉 エ 業	機械 夜間))
			機械(技能連携) 夜間	├ 1	├ 1	├ 0
			電気 夜間	J	J	J
			キャリアデザイン 夜間	1		1
三原	京市	三 原	普通 午前	1	1	0
			普通 夜間	1	1	0
尾道	首市	因 島	普通 夜間	1	1	0
Ż.	畐	福山誠之館	普通 夜間	1	1	0
L	Ц	福山葦陽	普通 午前	1	1	0
ī	ħ	松永	普通 夜間	1	1	0
		芦品まなび学園	普通 午前	1	1	0
			普通 午後	1	1	0
			普通 夜間	1	1	0
		福山工業	機械 夜間	<u>}</u> 1	<u> </u>	} 0
			機械(技能連携) 夜間	\ \ '	\ \ '	J
			電気 夜間	1	1	0
三岁	大市	三 次	普通 夜間	1	1	0
東広	島市	賀 茂	普通 夜間	1	1	0
廿日	市市	廿日市	普通 夜間	1	1	0
		宮島工業	機械 夜間	1	1	0
海田	田町	海 田	普通 夜間			0

(通信制)

市区 町名	学校名	学科名	31年度 定員	30年度 定員	差引 増減
広島市 中日	西	普通	_	_	0
福山市	東	普通	300	300	0

【参考】市立高等学校入学定員

(全日制本校)

市区町名		学校名 学科名		31年度	30年度	差引
町	石			定員	定員	増減
広	中	広島市立基町	普通 普通	320	320	0
島	区		創造表現	40	40	0
市		広島市立舟入	普通 普通	280	320	▲ 40
			国際コミュニ ケーション	40	40	0
	東区	広島市立広島商業	みらい商業	240	240	0
	南	広島市立広島工業	機械	40	40	0
	区		自動車	40	40	0
			電気	40	40	0
			情報電子	40	40	0
			建築	40	40	0
			環境設備	40	40	0
	安佐	広島市立沼田	普通 普通	280	280	0
	南区		体育	40	40	0
	佐伯区	広島市立美鈴が丘	普通	240	240	0
呉	市	呉 市 立 呉	総合学科	160	160	0
福山	市	福山市立福山	普通	200	200	0

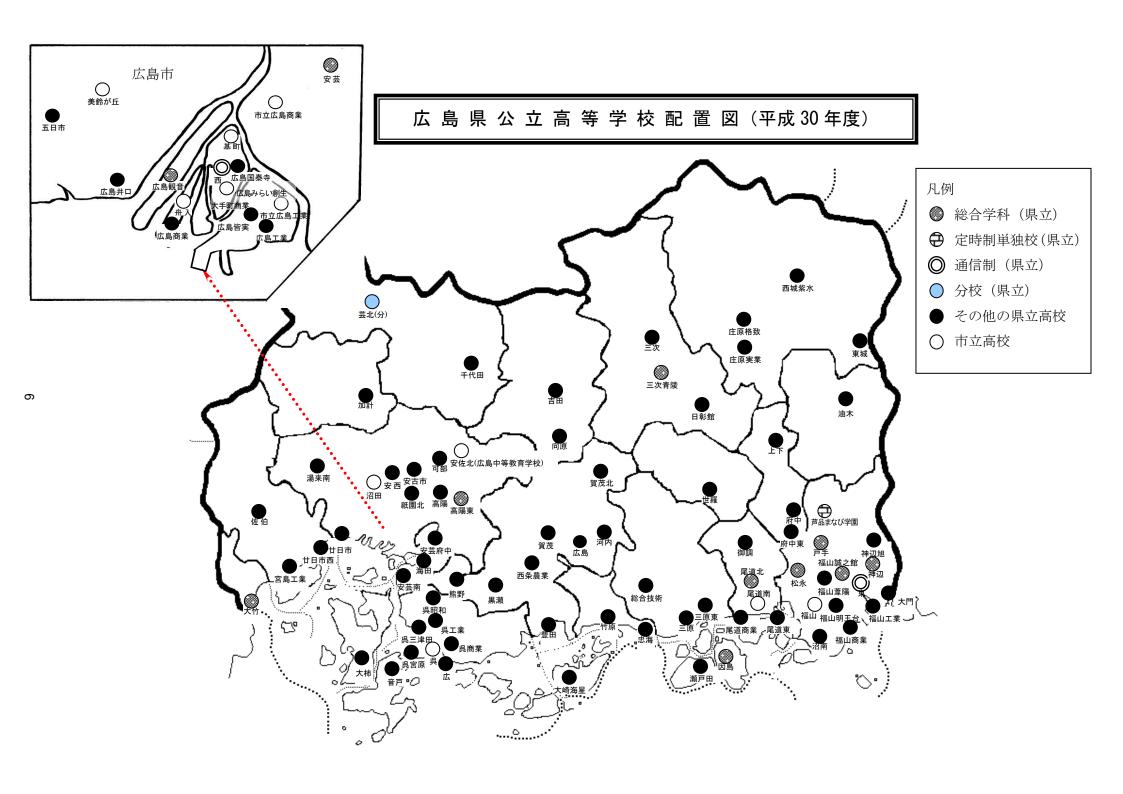
(注)福山市立福山高校の定員には、併設型中学校(福山市立福山中学校) からの入学予定者(約120人)を含む。

(定時制)

市区		学校名	学科名	31年度	30年度	差引
町名		于权和	71711	学級数	学級数	増減
広	中	広島市立大手町商業	ビジネス創造 昼間	_	_	0
島	区		ビジネス創造 夜間		_	0
	南区	広島市立広島工業	工業技術 夜間	_	_	0
尾i	首市	広島県尾道南	普通 夜間	1	1	0

(フレキシブル〔定時制・通信制〕)

市町		学校名	学科名	31年度 定員	30年度 定員	差引 増減
広阜	II	広島市立	キャリアデザイン 平日登校コース	240	240	0
島市	区	広島みらい創生	キャリアデザイン 通信教育コース	400	400	0



平成 31 年度県立特別支援学校高等部入学定員

1 普通科 (職業コースを除く。)

学校名	障害種別	平成 31 年度 入学定員	平成 30 年度 入学定員
広島中央特別支援学校	視覚障害		
広島南特別支援学校	聴覚障害		
尾 道 特 別 支 援 学 校 (しまなみ分校を含む。)	知的障害		
広島特別支援学校	知 的 障 害 肢体不自由		
福 山 特 別 支 援 学 校	肢体不自由		
西条特別支援学校(八本松分級を含む。)	肢体不自由		
広島西特別支援学校	病 弱		
廿日市特別支援学校	知的障害	教育長が	教育長が
福山北特別支援学校	知的障害	別に定める。	別に定める。
三 原 特 別 支 援 学 校 (大崎分教室を含む。)	知的障害		
呉 特 別 支 援 学 校 (江 能 分 級 を 含 む 。)	知的障害		
庄 原 特 別 支 援 学 校	知的障害		
広島北特別支援学校	知 的 障 害		
沼 隈 特 別 支 援 学 校	知的障害		
黒瀬特別支援学校(安浦分級を含む。)	知的障害		
呉 南 特 別 支 援 学 校	知的障害		

2	普通科職業コース				
	学校名	障害種別	学科	平成 31 年度 入学定員	平成 30 年度 入学定員
	福山北特別支援学校	知的障害	普通科職業コース	16 人(2 学級)	16 人(2 学級)
	広島北特別支援学校	知的障害	普通科職業コース	16 人(2 学級)	16 人(2 学級)

3 専門教育を主とする学科

学校名	障害種別	学科	平成 31 年度 入学定員	平成 30 年度 入学定員
		保健理療科	8人(1学級)	8人(1学級)
広島中央 特別支援学校		専攻科理療科	8人(1学級)	8人(1学級)
1700人孩子仅		専攻科保健理療科	8人(1学級)	8人(1学級)

第22条の3 法第75条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、 肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

図分 障害の程度 両眼の視力がおおむね○. 三未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度 のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による 認識が不可能又は著しく困難な程度のもの 両耳の聴力レベルがおおむね六○デシベル以上のもののうち、補聴器等の 使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの	及件「自由自入は附続者の革音の住文は、人の我に関けるとものとうる。					
 視覚障害者 のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの 両耳の聴力レベルがおおむね六○デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの	区分	障害の程度				
認識が不可能又は著しく困難な程度のもの 両耳の聴力レベルがおおむね六○デシベル以上のもののうち、補聴器等の 使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの つ 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに 頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの し 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの こ 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		両眼の視力がおおむね○. 三未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度				
 聴覚障害者 両耳の聴力レベルがおおむね六○デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの	視覚障害者	のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による				
聴覚障害者 使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの		認識が不可能又は著しく困難な程度のもの				
の 一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに 頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会 生活への適応が著しく困難なもの ー 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活にお ける基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ニ 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		両耳の聴力レベルがおおむね六○デシベル以上のもののうち、補聴器等の				
田 知 的 障 害 者	聴覚障害者	使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも				
知的障害者 頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会 生活への適応が著しく困難なもの 一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活にお ける基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		0				
知的障害者 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの 一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに				
一 知的発達の遅滞の程度が削号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のものニ 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医	知的陪宝老	頻繁に援助を必要とする程度のもの				
一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活にお ける基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会				
肢体不自由者 ける基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		生活への適応が著しく困難なもの				
放体不自由者 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医		一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活にお				
胶体不自田の状態が削号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医	 	ける基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの				
学的網索指道を必要とする程度のもの		二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医				
于可既宗田寺で必安とりる住及のもの		学的観察指導を必要とする程度のもの				
一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の		一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の				
病 弱 者 状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの	病 弱 者	状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの				
二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの		二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの				

2 普通科職業コース入学者選抜状況(一次募集)

(単位:人.倍)

区	分	入学定員	志願者数	受検者数	合格者数	受検倍率
	平成 26 年度	16	15	14	14	0.88
년 다니노	平成 27 年度	16	20	20	16	1.25
福山北 特別支援学校	平成 28 年度	16	34	34	16	2. 13
村別又饭子仪	平成 29 年度	16	12	12	11	0.69
	平成 30 年度	16	15	15	13	0.94
	平成 26 年度	16	16	16	16	1.00
许 自 小	平成 27 年度	16	16	15	15	0.94
広島北 特別支援学校	平成 28 年度	16	11	11	11	0.69
村別又饭子仪	平成 29 年度	16	16	16	16	1.00
	平成 30 年度	16	18	18	16	1. 13

[※] 福山北特別支援学校(平成26年度)は二次募集(定員2人)で1人が受検し合格。

3 専門教育を主とする学科入学者選抜状況(一次募集)

(単位:人,倍)

	区	分	入学定員	志願者数	受検者数	合格者数	受検倍率
		平成 26 年度	8	0	0	0	0.00
	保健理	平成 27 年度	8	1	1	1	0. 13
	療科	平成 28 年度	8	0	0	0	0.00
片	757.17	平成 29 年度	8	0	0	0	0.00
広島		平成 30 年度	8	0	0	0	0.00
中		平成 26 年度	8	4	4	4	0. 50
中央特	専攻科	平成 27 年度	8	8	8	7	1. 00
特別支援学校	理療科	平成 28 年度	8	7	7	6	0.88
	生原作	平成 29 年度	8	5	5	4	0.80
		平成 30 年度	8	6	6	6	0.75
字坛		平成 26 年度	8	2	2	2	0. 25
111	専攻科	平成 27 年度	8	2	2	2	0. 25
	保健理	平成 28 年度	8	2	2	3	0. 25
	療科	平成 29 年度	8	1	1	1	0. 13
		平成 30 年度	8	2	2	2	0. 25

[※] 保健理療科(平成27年度)は二次募集(定員8名)で1名が受検し合格。

[※] 専攻科保健理療科の合格者数には、専攻科理療科との併願者を含む。 (平成 27 年度~平成 30 年度)

